



平成 20 年 5 月 20 日

各 位

会社名 株式会社富士テクノソリューションズ
代表者名 代表取締役社長 高井 男
(登録銘柄・コード 2336)
問合せ先 責任者役職名 取締役副社長
原田 久仁子
TEL (046) 250-1666

通期業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 30 日に開示しました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) (単位:千円)

| | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当期純利益 |
|--------------------|-----------|---------|---------|
| 前回予想(A) | 2,800,000 | 70,000 | 69,000 |
| 今回修正(B) | 2,799,105 | 14,244 | 9,688 |
| 増減額(B-A) | △895 | △55,755 | △59,311 |
| 増減率(%) | △0.0 | △79.7 | △86.0 |
| (ご参考) | | | |
| 前期実績(平成 19 年 3 月期) | 2,528,522 | 30,829 | 1,098 |

2. 修正の理由

売上高については、予定通り達成することができました。

利益面におきましては、研修期間長期化による売上原価増加に伴い、前回予想の経常利益 70,000 千円に対し 14,244 千円、投資有価証券評価損を特別損失として 3,326 千円計上した結果、当期純利益 69,000 千円に対し 9,688 千円となりました。

第 33 期においては、派遣事業において新卒及び海外人材の技術者確保を予定通り確保できており、エンジニアリング及びソリューション事業においても大型案件受注を確定しておりますので計画を達成する所存であります。

3. 特別損失の発生及びその内容

投資有価証券評価損 3,326 千円

以上